

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10 月 19 日(金) 19 時 ~ 21 時		
市町村名	松川村	グループ名	3班
要 旨			
<p>1. 建設事務所より説明 2. 前回の質問事項に対する資料の配布、及び説明(19:15~) 問答集について</p>			
松川村では知られていない。大町の特定の市民にだけ配られていて不公平。配布した名簿を知らせてほしい。財源は、費用はどれくらいかかったか知りたい。資料の出所はどこか教えてほしい。以上は次回までに回答してほしい。			
建設事務所では知っていたか。			
自分は知らなかった。			
事務局はどこか。			
大町市の建設課となっている。			
将来の交通量はどうかについて説明。 特定財源がなくなったらどうなるかについての回答。旧道の維持管理について説明。大町建設事務所管内の維持管理について説明。ルート協議会の事務局について説明。			
ゼロベースからスタートなのに、県では進行しているが、ゼロに戻せるのか。意見がどこまで反映されるのか。起点の変更等ができるのか。			
県の調査は平成12年で止まっている。当時の資料のため進行する傾向があったが知事はこの会の意見をベースにと考えている。			
県が変更した場合国としてはどうなるか。			
今までに前例がない。			
新潟県との関係は、長野で止めたらどうなる。			
部分的な事でも影響はない。仮に長野側で止めても新潟県側では計画は進む可能性がある。			
ルート調査費までついている中で住民から反対や賛成問題提議されたりしている。議会でも調査返上となっている。県からはいろんな意見を聞くようになった。住民の中にはここまで計画が進んでいることを知らない人が多い。			
住民に話のないまま進められてきていたが、道路について根本的な意見を出してほしい。			
拘束されず、自由に討論するべきである。			
賛成、反対にとらわれず道路について話合おう。			

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10 月 19 日(金) 19 時 ~ 21 時		
市町村名	松川村	グループ名	3班
要 旨			
村内で区毎に集会を開きもっと多くの人の意見を聞くべきである。			
さん(前の意見を言った人)に賛成意見。			
他のグループは賛成が多いと聞いている。			
皆が知りたがっているのに、不透明さが今問題となっている。安曇野にはこの道路はふさわしくない。疑問に思う。			
今まで行政では決まったことをいつも伝えていた。ゼロからのスタートは今回初めて。今までの流れはどうだったか。			
進め方は非民主的だった。			
田中県政になって公共事業の見直しをし、変わってきている。			
今までの積み重ねを白紙に出来るのか、ゼロに出来ないかも知れないが近づける事は出来る。皆の意見を聞いて判断していくのだろう。			
村民、県民が主になって考えるべきで、もっと多くの住民の声を聞くべき。でも今回の会議は評価する。			
住民の中にも行政任せできていた。			
村の意見は村でまとめるべき村民が責任をもって意見をまとめるべきである。			
村の中でも場所によって意見が違う、村としても詰めなくてはならない。			
一部の意見だけを聞くのはおかしい。			
一部だけではなく、全員の意見をとり上げて行きたい。この交換会の意見が村全体というような事はしない。			
村では住民のアンケートをしたりして意見をとりまとめることをしたらどうか。			
道路を作ることを前提として話が進められている。 道路が必要なのか、ゼロからはじめなくてはいけない。			
既に、今まで積み上げてきているものがあり、現実にはゼロにする事は難しい。 公共事業費の内7割は県外業者である。県内の土建業の方は賛成しているが、県内にお金は落ちない。			
山麓線の自然を守り、緑を守ることは絶対条件。地元の業者を使って行うべきである。人口増加を見通して行うべき。また、先を見据えて考えるべき。 自然保護と開発が相反している			

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10 月 19 日(金) 19 時 ~ 21 時		
市町村名	松川村	グループ名	3班
要 旨			
外国では作られたダムを壊し、逆に自然に戻している。			
高瀬川河川敷には希少動植物があるので、保護していきたい。 堤防道路では60～70kmで走ると遅いほうで、皆高速で走っている。			
景観を守っていきたい。			
景観を守ることは自分の住むところは守っていくが、他の所の事は考えない傾向が強い。村会で、まず話をまとめる事が大事。			
村会で決める事に反対もされている。まず村民の声を聞くべき。			
議会では、村へ反対の意見を伝えてある。			
他市町村で賛成して松川だけ反対はできるのか。			
ルートが波田から糸魚川については、反対である。 松川がダムということではなく、ルートについて北の方からという話である。			
調査区間の変更を申し出ている。			
議会特別検討委員会からの意見に村長はどう対処したか。			
6月委員会の要望について村長も不適切としているが、県に届いていない。			
まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見交換会についての疑問が出された。 ・ 現実には発足されていて難しい。 ・ 安曇野の景観を守るという大事な事がある。 ・ 議会検討委員会の提案の課題が残る 			